



既存環境から Cisco and Hitachi Adaptive Solutionsへの 移行方法について

2019年8月

株式会社 日立製作所

Contents

1. Adaptive Solutionsとは
 2. 日立ストレージによる環境移行のメリット
 3. Adaptive Solutions環境への移行方式
 4. 日立的移行サービス紹介
- 付録

1. Adaptive Solutionsとは

概要

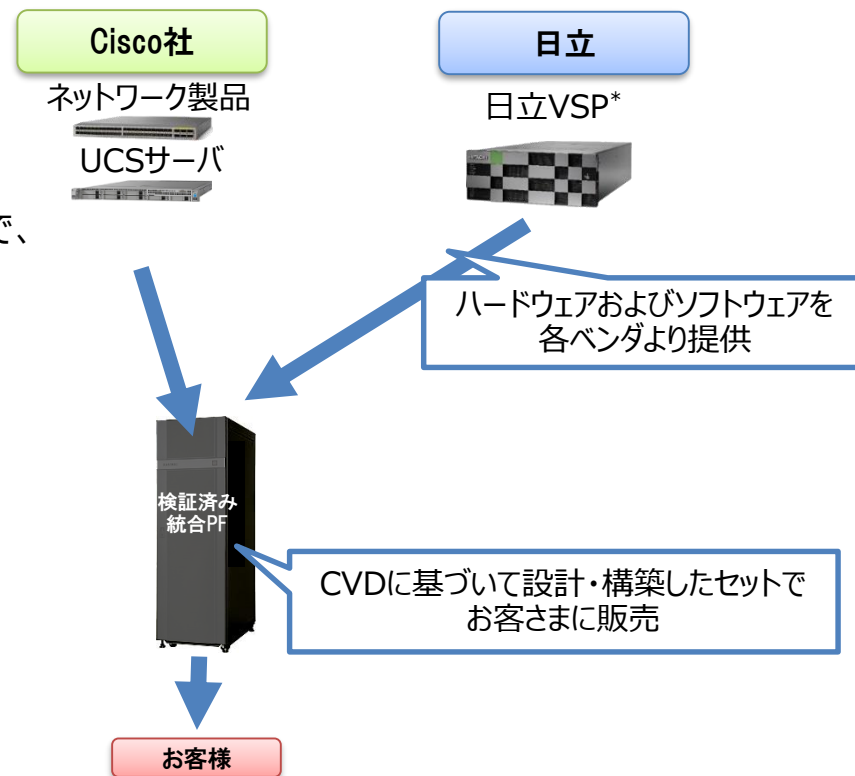
- CVD(Cisco Validated Design: シスコ検証済みデザイン)に基づき、SAP HANA用として検証されたCiscoサーバと日立ストレージの統合プラットフォームをご提供

特長

- Cisco社との強固なパートナーシップに基づいた検証済みの構成で、迅速に安心して構築、運用が可能
- 日立のSAP HANAクラウドサービスでも採用しており、すでに本番稼働済みで、実績あり

提案領域

- プライベートクラウドや仮想化基盤などの構築を検討されており、早く確実に構築したいお客様
- SAP ERP®(R/3)からSAP S/4HANA®へ移行を検討中のお客様
- オンプレミスで高信頼SAP HANA環境を構築したいお客様
- 統合プラットフォームのご利用を検討されているお客様

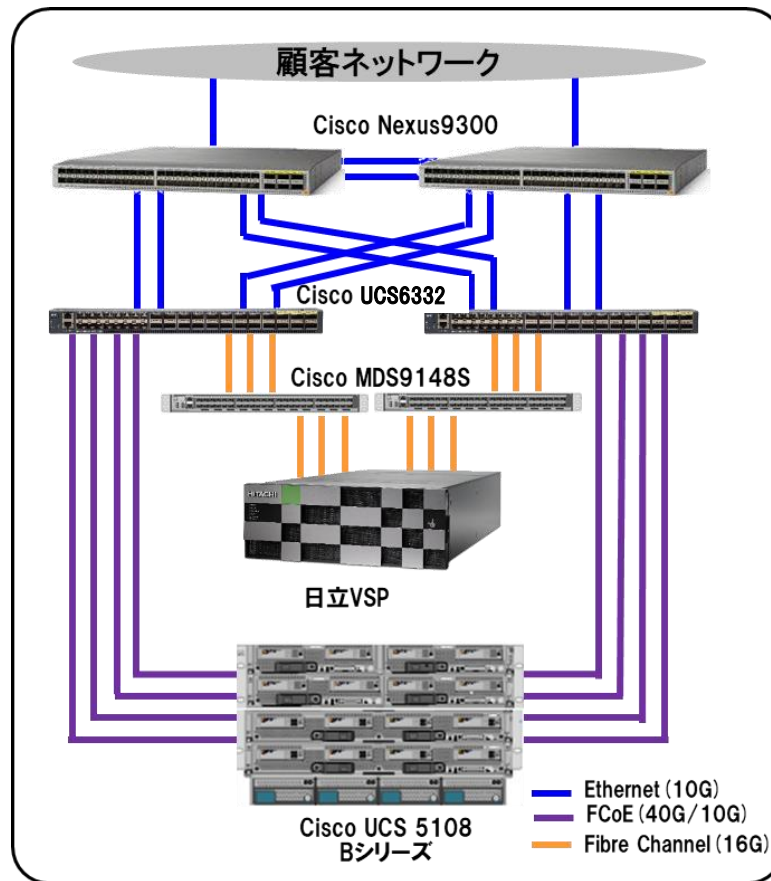


* 日立VSP : Hitachi Virtual Storage Platform

Cisco社のUCS-Bシリーズ(ブレードサーバ)との日立ストレージ接続を想定

構成UCS-B 構成例

サーバはCNA(Converged Network Adaptor)を使いFCoE接続です。ストレージはFC接続です。



2. 日立ストレージによる環境移行のメリット

ストレージ仮想化機能で、データ移行の業務影響を極小化

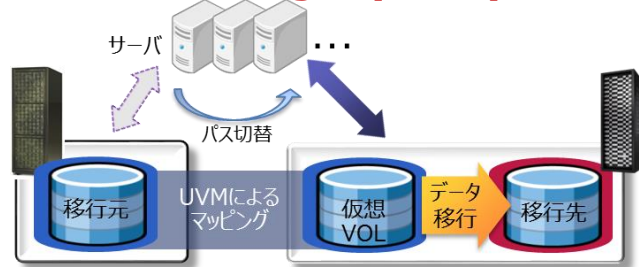
お客様のニーズ

ストレージ更改に伴い、データ移行を実施したいが、サーバのボリューム認識作業などの煩雑な作業や、業務停止を避けたい。

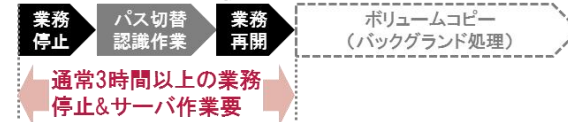
日立が提供する価値

データ移行の作業の負担を軽減。
 -業務停止時間のゼロ化または極小化
 -サーバの煩雑な作業の回避
 お客様ビジネスへの影響を最小限に抑えます。

■ Universal Volume Manager(UVM) & Hitachi Volume Migration(TM)



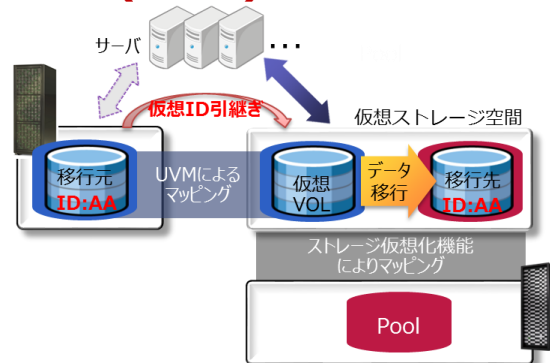
UVM & VMでのデータ移行



サポート移行元ストレージ
日立ストレージ、他社ストレージ*

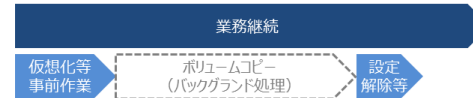
※事前評価が必要となる場合があります。

■ nondisruptive migration(NDM)



■ NDMでのデータ移行

⇒業務無停止でのデータ移行が可能



サポート移行元ストレージ
旧日立ストレージ
(USP V/VM, HUS VM, VSP)

既存ストレージ資産を有効活用

お客様のニーズ

マルチベンダストレージインフラなど多様な
ストレージインフラを一元管理したい
既存のストレージからのデータ移行をシンプルに
したい

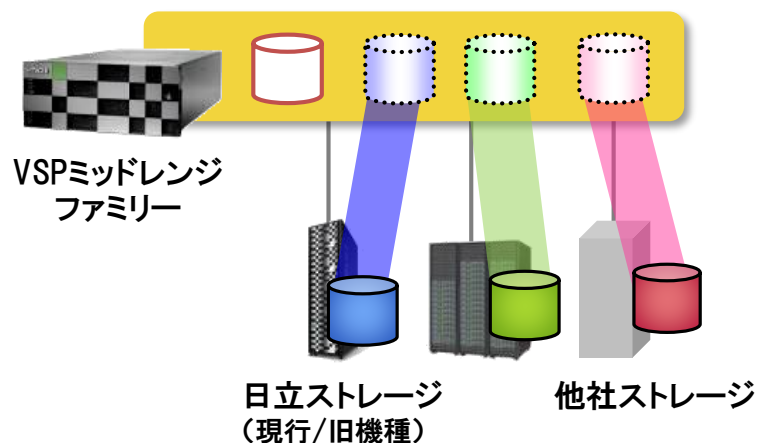
日立が提供する価値

他社を含む異機種ストレージをコンソリし、
VSPミッドレンジファミリーのボリュームとして、
サーバに見せることが可能

データ移行にも適用できます！

■ Universal Volume Manager

- 接続したストレージのボリュームは、VSPミッドレンジファミリーの内蔵ボリュームと同様の操作・管理が可能（一元管理）
- VSPミッドレンジファミリーの各種機能を接続したストレージのボリュームにも適用可能（資産の有効活用）



日立はアプライアンス機器なしで
既存/他社ストレージ接続を実現可能

3. Adaptive Solutions環境への移行方式

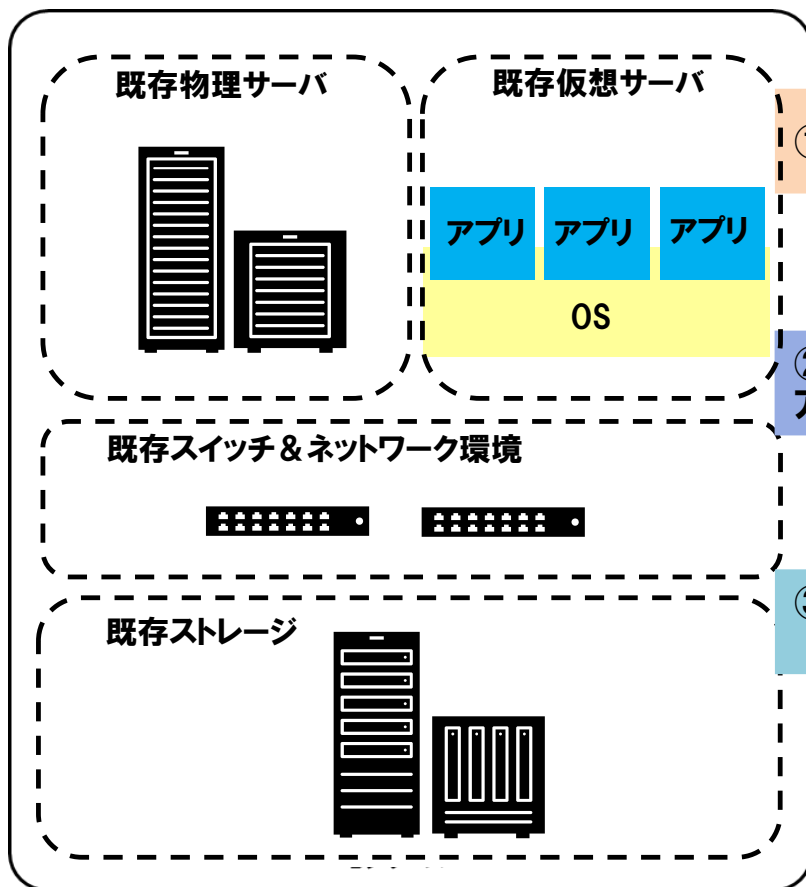
3-1 既存システムからの移行における検討ポイント

既存システムから新システムへ移行する場合、検討ポイントには下記3点が有ります。

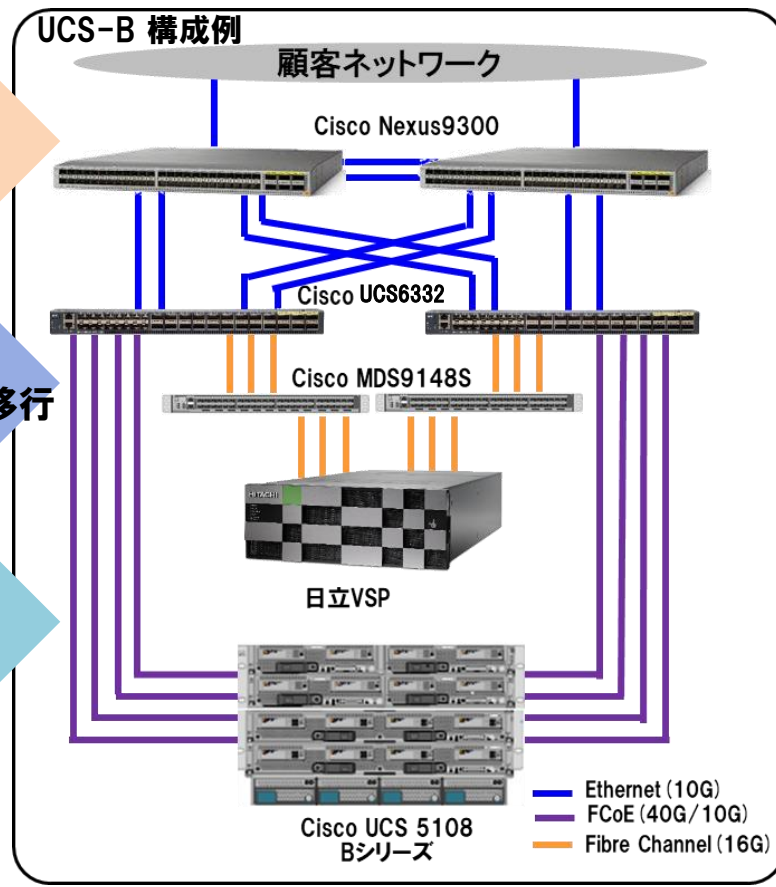
- ①サーバ、②OS&アプリケーション、③ストレージ&データ

※①～③の移行要件に合わせたフローチャートを次ページで示します。

既存システム



CVD準拠の新システム

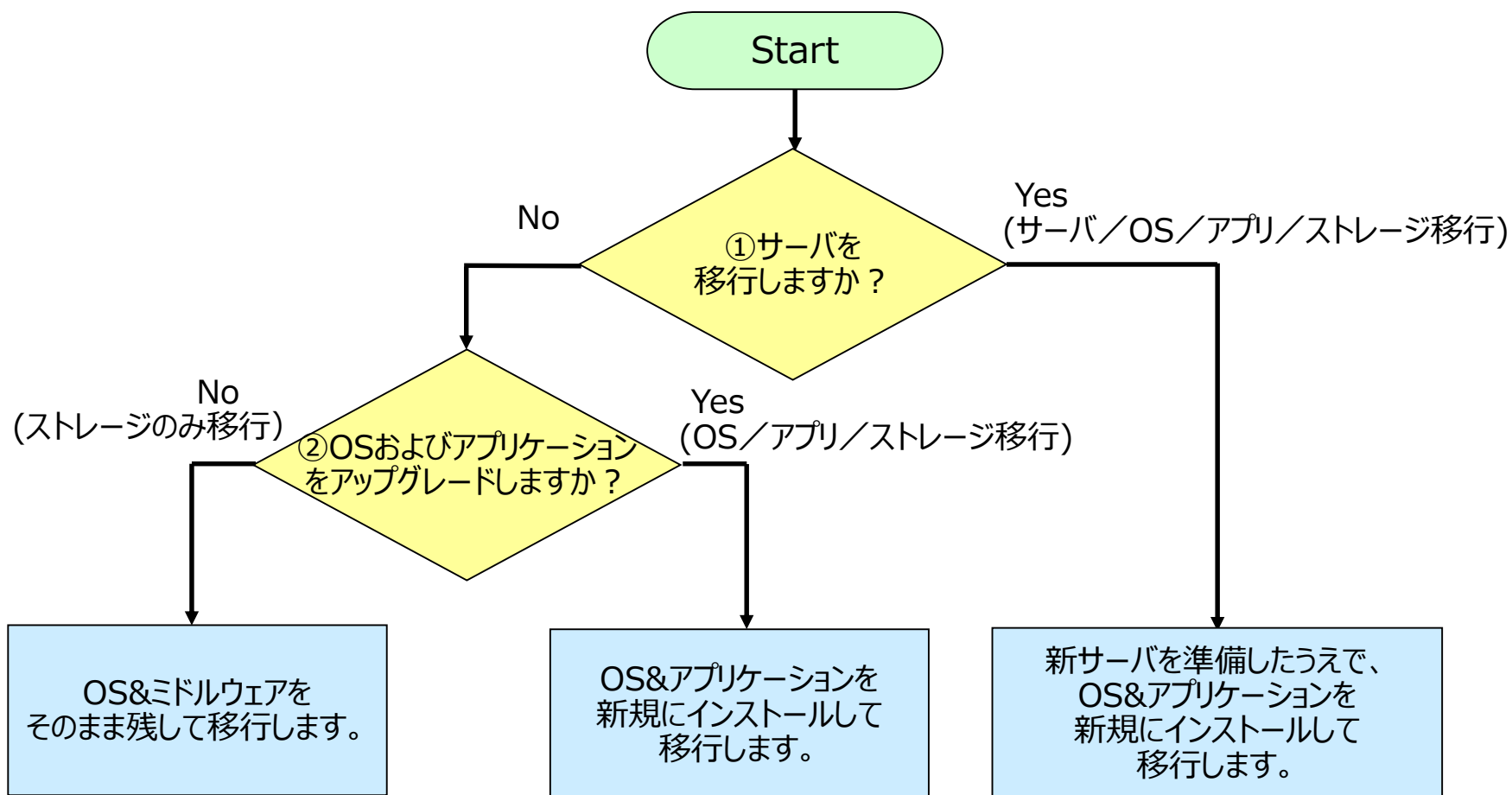


①サーバ移行

②OS&アプリケーション移行

③ストレージ&データ移行

3-2 移行要件に応じた移行方式選択フロー



移行作業詳細につきましては、次ページに記載のお問い合わせ窓口まで相談ください。

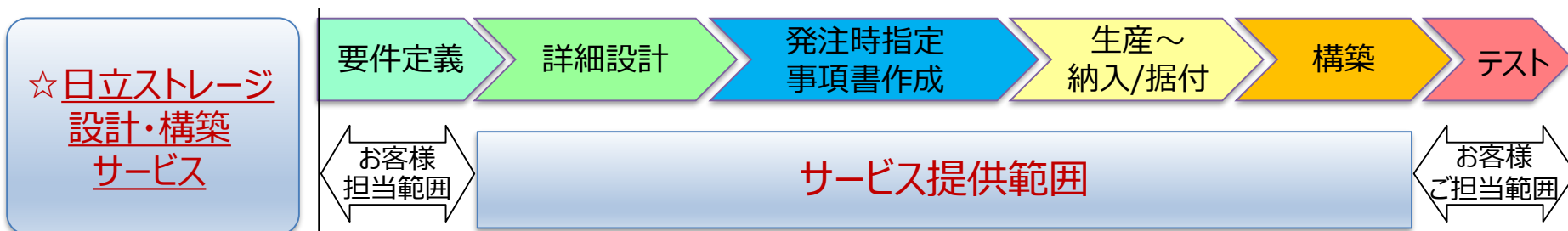
移行作業に関する、詳細設定や注意事項および制限事項につきましては下記の問い合わせ窓口までご相談ください。

問い合わせ窓口

- 電話によるお問い合わせ
HCAセンター(Hitachi カスタマ・アンサ・センター)
 - ・電話番号: 0120-2580-12
 - ・受付時間: 9:00～12:00, 13:00～17:00
(土日曜祝、年末年始は休ませていただきます)
- WEBフォームによるお問い合わせ
WEBフォームに必要事項を入力していただくことでお問い合わせいただけます。
 - ・問い合わせフォーム:
<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/storage-solutions/inquiry/form.jsp?CAMCID=IknjlhToJY-387&CAMSID=dueeigNIHgBHcB-92&CAMVID=iDoCdlbHujR&c d=1&ct=1559715765280>

4. 日立の移行サービス紹介

お客様/SEの基本設計に基づき、詳細設計～導入～構築をワンストップ対応



特長

- ストレージ専門技術者が設計・構築
 - ・ストレージシステムの設計・構築をお客様に代わり、ストレージ専門技術者が実施

- ストレージシステムをワンストップ提供
 - ・ストレージの導入に関して、『設計～出荷・導入～構築』をワンストップで提供



日立ストレージ設計・構築サービス

顧客/SEの基本設計に基づき、詳細設計～導入～構築をワンストップで対応

✓ 手配

ハード導入日の **1ヶ月**前まで

- ・上記よりも**短納期**となる場合は**別途メニュー**をご用意しておりますのでご相談をお願い致します。
※大規模構成の場合は上記期間よりも長い時間が必要になる場合がございますので、事前にご相談をお願いします。
- ・ストレージ導入支援サービスに関するご相談、ご質問は以下の問合せ窓口までご連絡ください。

問い合わせ窓口

●電話によるお問い合わせ

HCAセンター(Hitachi カスタマ・アンサ・センター)

- ・電話番号：0120-2580-12
- ・受付時間：9:00～12:00, 13:00～17:00
(土日曜祝、年末年始は休ませていただきます)

●WEBフォームによるお問い合わせ

WEBフォームに必要事項を入力していただくことでお問い合わせいただけます。

・問い合わせフォーム：

<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/storage-solutions/inquiry/form.jsp?CAMCID=lknjlhToJY-387&CAMSID=dueeigNIHgBHcB-92&CAMVID=iDoCdlbHujR&c d=1&ct=1559715765280>

自社商品名、商標等の引用に関する表示

- HITACHIは、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

他社商品名、商標等の引用に関する表示

- Ciscoは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Cisco(ロゴ)は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SAP、SAP HANA、および本文書に記載されたその他の SAP 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP SE の商標または登録商標です。
- SAP、R/3、および本文書に記載されたその他の SAP 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP SE の商標または登録商標です。
- Red Hatは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

END

**既存環境から
Cisco and Hitachi Adaptive Solutionsへの
移行方法について**

2019年8月

株式会社 日立製作所

HITACHI
Inspire the Next 